

横浜市政記者 各位

横浜ラジオ・テレビ記者 各位

横浜海事記者クラブ 各位

記者発表資料

平成20年3月28日

都市整備局みなとみらい21推進課企業誘致担当課長 松本 孝 671-3517  
行政運営調整局財産調整課長 長尾 政治 671-2198

## みなとみらい21地区における(株)セガの エンタテインメント複合施設開発の中止について

なかだ ひろし  
**中田 宏** 横浜市長コメント

株式会社セガより本日の取締役会で、みなとみらい21中央地区におけるエンタテインメント複合施設開発を中止することを決定したという残念な報告を受けました。  
今後の対応についての検討を所管局に指示したところです。

開発全般の問い合わせ先：都市整備局企業誘致担当課長

松本 TEL：045-671-3517

売却条件等問い合わせ先：行政運営調整局財産調整課長

長尾 TEL：045-671-2198

平成 20 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長  
 里 見 治  
 ( コード番号 6460 東証第一部 )  
 問 合 せ 先 執 行 役 員  
 秋 庭 孝 俊  
 ( 電話番号 03-6215-9955 )

「みなとみらい 21」中央地区におけるエンタテインメント複合施設開発の中止について

当社ならびに当社子会社である株式会社セガ（代表取締役社長 CEO 兼 COO：里見治、本社：東京都大田区、以下「セガ」）は平成 20 年 3 月 28 日開催の取締役会において、「みなとみらい 21」中央地区におけるエンタテインメント複合施設開発の中止を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開発中止の理由

当社グループでは、「みなとみらい 21」中央地区におけるエンタテインメントを核とした複合施設の開発に向け、平成 17 年以来検討を進めてまいりました。しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境が急激に変化する中、業績をいち早く立て直すためには、本開発プロジェクトを中止し、コア事業に注力することが必須であるとの判断に至りました。なお、セガは横浜市土地開発公社より、平成 19 年 2 月に「みなとみらい 21」中央地区 55・56・57 街区を取得しており、本年 3 月末には 58 街区を買い受ける予定でしたが、この度の決議を受け、58 街区の購入は見送られることとなります。

当社グループ単独の事情による決定の結果として、横浜市および横浜市土地開発公社を始め、これまでご協力いただいた関係各位に多大なるご迷惑をお掛けすることにつき、心よりお詫び申し上げますとともに、今後の誠実な対応をお約束する次第です。

2. 中止となるエンタテインメント複合施設開発の概要

敷地面積	28,000 m <sup>2</sup> (58 街区を含む合計 41,000 m <sup>2</sup> )
土地取得費用	226 億円 (58 街区を含む合計 330 億円)
土地取得目的	エンタテインメントを核とする複合施設の開発
スケジュール	平成 19 年(2007 年) 2 月 20 日 55・56・57 街区土地売買契約締結 平成 20 年(2008 年) 春頃 58 街区土地売買契約締結 (予定) 平成 20 年(2008 年) 秋頃 着工 (予定) 平成 23 年(2011 年) 春頃 竣工、オープン (予定)

3. 今後の見通し

当社では現在、この度の決定が業績に与える影響を含めて、平成 20 年 3 月期の連結業績予想の見直しを進めており、判明し次第速やかにお知らせいたします。

以上

## みなとみらい21中央地区57・58街区

### 映像文化とビジネスニーズが融合した 『総合エンタテインメント施設』を創出！ ～株式会社セガが本社機能の一部を移転へ～

『株式会社 セガ』を事業予定者として決定しました。

劇場や屋内型パークをはじめとするエンタテインメント施設の設置と、これらの映像文化ビジネスの豊富な実績を有する(株)セガの本社機能の一部移転、また、ビジネスニーズを視野に入れたホテルやサービス施設の設置により、

- ・映像文化都市づくりの視点から、人材の集積やノウハウの蓄積が期待できること
- ・当地区の業務機能集積に寄与すること
- ・日本から世界に発信する新しいエンタテインメント施設として期待できること

などを評価しました。

◇事業概要◇ [ 問い合わせ先：(株)セガ 広報部 TEL：03-5736-7037 ]

1 事業予定者 株式会社 セガ 代表取締役社長 小口 久雄

#### 2 事業方針

57・58街区については、セガの重要プロジェクトとして位置づけられた55・56街区の事業構想を拡充し、世界中のあらゆる人々へ最高のエンタテインメント施設を創造し、温かさと安らぎのある上質なホスピタリティを提供することを目的として、新たなエンタテインメントの創出を目指します。

3 施設概要 注) 今後、協議を進める段階で、変更する場合があります。

ア 敷地面積 約4.1ha (57・58街区 約2.3ha、55・56街区 約1.8ha)

\*既にセガが事業予定者と決定している55・56街区の計画を拡充し、57・58街区と一体的に開発する事業提案です。

イ 施設内容 延床面積 約300,000㎡

建物高さ 約100m程度を予定

施設内容

- ・屋内型大型エンタテインメント施設  
(劇場、屋内型パーク、シネマコンプレックス)
- ・オフィス (セガ本社機能の一部移転、賃貸オフィス  
コンテンツ系人材育成等を主としたセンター、メディカルモール)
- ・ホテル、商業施設 (物販、飲食、サービス店舗)

#### 4 今後のスケジュール (予定)

平成20年春頃 着工、平成22年春頃 竣工、オープン

57・58街区の開発条件等問い合わせ先：都市整備局企業誘致担当課長 松本 TEL：045-671-3517

57・58街区の売却条件等問い合わせ先：財政局財産調整課長 増住 TEL：045-671-2198

# ■位置図

